

人権教育推進大会

1月24日、東和総合センターで周防大島町人権教育推進大会が開催されました。式典では人権教育啓発作品の表彰と紹介などが行われました。

その後の記念講演では、社会福祉法人同朋福祉会理事長（総合園長）の河内美舟さんが「心の居場所はその人らしく」と題し、美祢市での特別養護老人ホームの建設・運営などの経験談を交え、人と優しい心、ふれあう心、温かい心で接する大切さを話されました。



各地でどんど焼き



久賀でのどんど焼きの様子



1月11日、橘地区、久賀地区でどんど焼きが開催されました。橘地区では町橘地区青少年育成町民会議主催により島中小学校、安下庄小学校で、久賀地区では町社会福祉協議会主催により県大島防災センター広場でそれぞれ開催され、お正月のしめ縄、門松などを焼いて供養し、一年間の豊作や健康を願いました。

▲安下庄でのどんど焼きの様子

また県大島防災センター広場では、どんど焼きのほか引山太鼓の打ち初めも行われました。

中高一貫教育だよ切

ふれあいみかん収穫作業

12月6日、中学生と高校生の交流を深めるとともに、地域の産業について理解し、勤労の貴さを知り、職業観を身につけることを目的として、「ふれあいみかん収穫作業」を実施しました。

この行事は毎年、周防大島町内のみかん農家にご協力いただき、久賀中学校、大島中学校、東和中学校、安下庄中学校、周防大島高校の生徒が参加しています。

生徒たちは農家の方からみかん採取の方法など、作業の仕方を教わりながら、真剣に取り組んでいました。



▲みかん収穫作業

《作業後の生徒の感想》

みかんを収穫するという単純な作業だったけど、一日するだけでかなり疲れた。

おいしいみかんをたくさんいただくこともでき、他の地域ではめったにできない作業だと思うので、体験できてよかった。



▲郷土おおしま発表大会

■問い合わせ

周防大島高等学校 ☎0820(77)1048

「郷土おおしま」発表大会

今年度で13回目となる「郷土おおしま発表大会」を1月16日、橘総合センターにて開催しました。

中学生が、大島の自然や文化、産業、暮らしなどの中からテーマを設定し、フィールドワークを積極的に行うなど、調査・研究に取り組ましました。

各校代表者の工夫を凝らした発表に、観衆も真剣に聞き入っていました。各校がお互いの発表を見聞きすることにより「郷土おおしま」について、知識と理解を深めるよい大会となりました。

【P7ちよび塩クイズ答え：②約0.4g

かつお節や昆布でだしをとると、含まれる食塩量は約0.1gになります。】